

日本共産党中央区議会議員

奥村あきこ レポート



奥村あきこ事務所 中央区月島1-24-2
電話03-3531-7136
中央地区委員会 電話03-3551-6820

ブログもご覧ください 『奥村あきこ』 で検索！



4月施行予定の「子ども・子育て支援新制度」 格差のない保育をめざし「条例修正」提出

10月16日に閉会した中央区議会第三回定例会に、来年4月から実施予定の「子ども・子育て支援新制度」に伴う新たな条例の制定や条例改正など5件の議案が提出されました。

行政責任を後退させる「新制度」

「新制度」は、保育施設の設置基準の規制を今まで以上に緩和する内容となっています。

自治体の「保育の実施責任」を「サービス提供」に変え、利潤を追求する株式会社など民間の保育事業への参入を促して、「待機児の解消」をはかることが主眼となっています。

「新制度」によって、行政は直接、保育を実施しなくても、株式会社や民間事業者などが運営する様々な形態の保育を「提供」すればよくなります。

「新制度」によって、職員配

置基準や給食の有無、保育室の面積などの規制緩和が行われま

資格がなくても「保育者」に

区立保育園などの認可保育所の保育者は全員が保育士の資格を持っています。

今度新しく認可される「家庭的保育事業（自宅などで乳幼児

を預かる事

業）」や

「小規模保

育事業」の

C型（家庭

的保育のグル

ープ型で6〜10人

の乳幼児を預かる事業）では、

区長が認める研修を修了さえすれば、保育士の経験がなくても保育者になれます。

11月の委員会日程

- 11月5日（水） 議会運営委員会
- 7日（金） 企画総務委員会
- 10日（月） 区民文教委員会
- 11日（火） 福祉保健委員会
- 12日（水） 環境建設委員会
- 13日（木） 東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
- 14日（金） 築地市場等まちづくり対策特別委員会
- 17日（月） 地域活性化対策特別委員会
- 18日（火） 少子高齢化対策特別委員会
- 19日（水） 防災等安全対策特別委員会

議会運営委員会は13：00～、それ以外の委員会は全て13：30～の開会となります。気軽に傍聴に足をお運びください。

なお、区議会第四回定例会は11月21日から開かれる予定です。



保育面積も後退させる「新制度」

乳幼児一人あたりの面積も、国基準に上乘せし中央区の認可保育所で守ってきた「ゼロ歳児6㎡、1歳児3・5㎡、2歳児2㎡以上」ではなく、0歳児と1歳児3・3㎡、2歳児1・98㎡と、国の基準をそのまま横引きした基準となっています。

「保育士資格者」増など提案

子どものための保育を

日本共産党区議団は、区立認可保育園で実施されている保育の水準を下回るような保育にさせないため、「家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例」について、「保育事業は、子ども



の権利保障を基本に格

差のない保育・教育を実施すること」を求め、次のような内容を盛り込んだ「修正案」を提出しました。

★小規模な保育施設でも、保育士資格者の割合を増やし、保育の質を高めること

★緊急時の安全の上からも、保育室などの設置は3階以下とする

★家庭的保育の保育者は保育士などの有資格者にする

この条例に反対し、「修正案」を提出したのは日本共産党区議団だけでした。

残念ながら「修正案」は他会派の賛同を得られず否決されてしまいました。でも、これからは保育制度の改善めざし、力をつくします。

「修正案」の詳細は、区議団ホームページよりご覧いただけます。

「築地でええじゃないか！」パレードに参加

10月25日、「第5回 守ろう！築地市場パレード」に、双子の娘たちを連れて参加しました。ドラムのリズムに合わせて「築地でええじゃないか！」とコールしながら、築地市場正門前から銀座まで歩きました。

豊洲新市場の施設建設費は、9月29日、都議会経済港湾委員会での日本共産党の尾崎あや子都議の質疑で、当初計画（約1000億円）の2倍以上に膨らむ見通しが明らかになりました。

施設建設工事発注額はすでに1650億円を超えており、今後の発注額を含めると2000億円を超えることとなります。

豊洲新市場は深刻な土壌汚染に加え、青果、水産卸、水産仲卸の各売場棟が道路で分断され、物流導線が悪いという致命的欠陥があり、工事費が増大するという問題もあります。

豊洲新市場用地の汚染対策工事の費用は、今年の春の時点で762億円となり、すでに予算586億円をオーバーしましたが、工事は完了していません。また、対策完了確認のため土壌汚染対策法が定めた「地下水2年間モニタリング」は開始するメドもたっていません。

汚染された豊洲では食の安全も、消費者と市場を結びつける役割も果たせません。現在地で再整備する道こそ、都民の願いではないでしょうか。

